

今回報告の定例会は

3月 6月
12月 9月

令和5年3月号
「山」議会だより
たそやま

未来に残したい館山の風景

幸せの風景

撮影者：山崎理恵さん



第8回議会報告会

◆議会報告会アンケートに150件の意見 誰もが参加し発言しやすい 議会報告会を目指します



多くのご回答
ありがとうございました

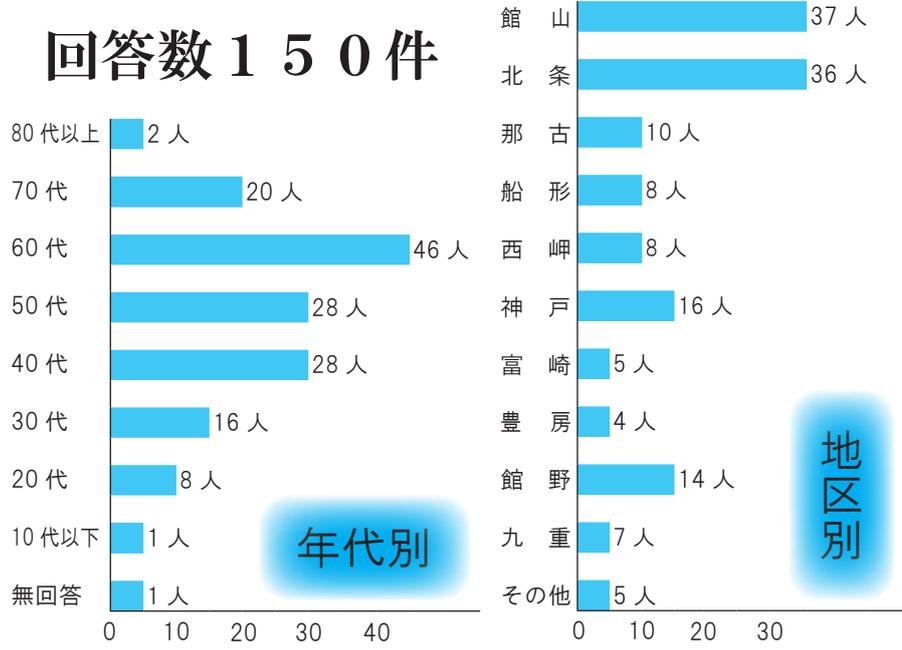
館山市議会では、市民の皆様との意見交換の場のひとつとして、「議会報告会」を毎年開催し、議会審査の報告や市民の皆様からご意見・ご要望を伺ってきました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、対面式での開催に代わり、従来の「議会報告会」の開催方法を見直すために、「議会報告会アンケート」を実施しました。

市議会ホームページやLINE、アンケートチラシなどにより広くご意見を募集したところ、幅広い年代の方々から合計150件の回答をいただきました。

回答方法の内訳は、オンライン（スマートフォンやパソコン）による回答が117件と、全体の8割近くを占めるなど、デジタル化ツールの有効性が確認できました。

アンケートの設問とその結果の概要は以下のとおりです。

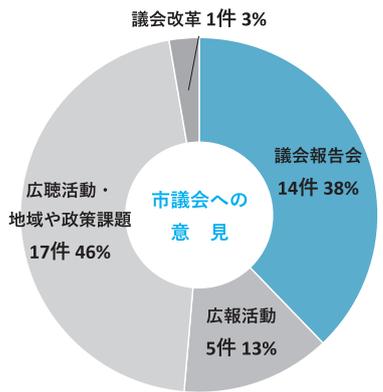


アンケート結果の詳細はこちらから

議会報告会

市議会では、頂いたご意見やご要望は議会だより、市議会ホームページ等で公開し、市民の皆様へご紹介するとともに、今後の議会活動に生かしてまいります。

市議会への意見・要望等



右図はアンケートでの自由意見の結果です。合計37件のご意見・ご要望を頂きましたので、その一部をご紹介します。

- 【議会報告会について】
 - 意見交換の時間を長くしてほしい。
 - 議員と直接会って意見を聞きたい。
- 【広報活動について】
 - 各議員の活動が知りたい。
 - 議会のホームページが見つけにくい。
- 【広聴活動（地域や政策等）について】
 - 市民の声が届く仕組みを作してほしい。
 - 地区での困りごとなど気軽に相談できると嬉しいです。
 - 子育て支援をもっと充実させてほしい。
- 【議会改革について】
 - 議員の活動実態が見えてこないという声を聞くがどうか。



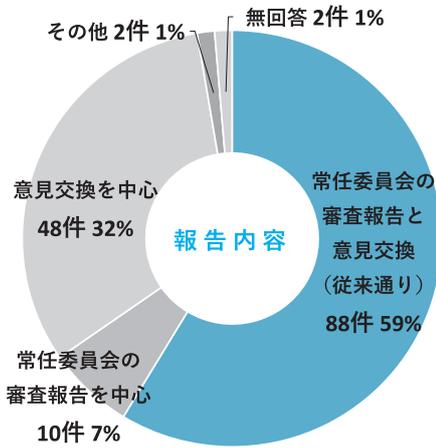
より一層の「市民参加の議会」を目指して

館山市議会議員 石井 敬之

館山市議会では安房地域で唯一「議会基本条例」を制定し、「開かれた議会」を目指し、平成27年度より市民の皆様の意見を直接お聞きする「議会報告会」を開催してまいりました。しかしながら、今年度は、未だ収束がみえない新型コロナウイルス感染症を考慮し、市民の皆様が参加する対面式での開催に代わり「議会報告会に関するアンケート」を実施し、従来の開催方法を見直すこととしました。

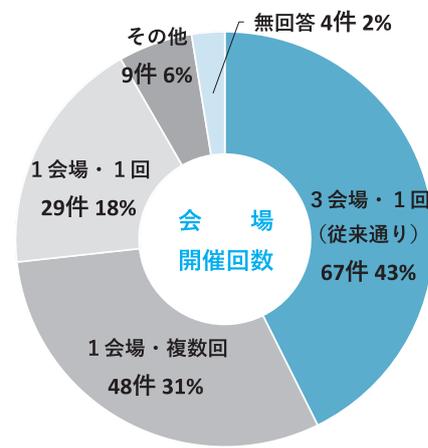
この「議会報告会アンケート」では、皆様から大変多くのご意見が寄せられ、市議会を代表して御礼申し上げます。お寄せいただいたご回答は、多くの市民の皆様が参加し、発言しやすい議会報告会への見直しに活用させていただきます。また、市議会や市政へのご意見は、市長をはじめとした執行部に伝達するとともに、議員一人ひとりが真摯に受け止め、今後の議会審議などの議会活動に生かし、「市民参加の開かれた議会」の向上に努めてまいります。

議会報告会の開催方法に関するアンケート結果の概要



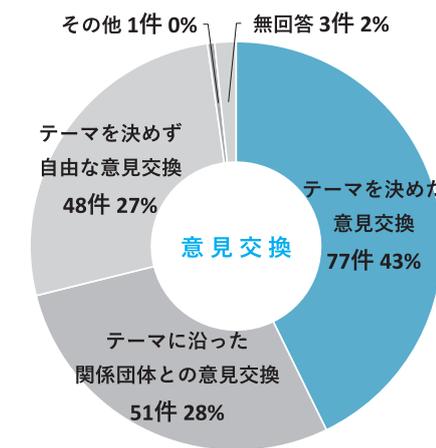
報告内容

議員との意見交換を望む人が多い傾向であるため、従来よりも意見交換の時間や機会を増やす工夫が必要です。



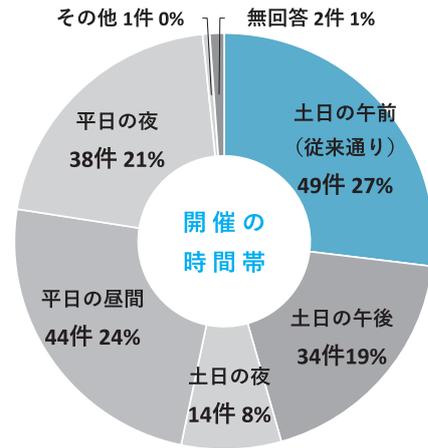
会場・開催回数

「従来通り3会場で開催」が約4割ある一方で、「1会場で開催」を選択した人の合計が約5割です。報告内容によって会場数を柔軟に変更することが必要です。



意見交換

個人、団体を問わず「テーマを決めた意見交換」の割合が約7割です。個人だけでなく幅広い世代や各種団体との意見交換が望まれます。



開催の時間帯

「土・日開催」と「平日開催」の割合がそれぞれ半数程度となつていきます。土日の午前に固定せず、多様な時間帯での開催が望まれます。

【議会報告会の目的】
住民意思の市政への反映や審議・決定過程の説明責任を果たすこと
現在、市議会では、議会報告会の目的を果たすため、今回のアンケートの結果を生かし、「多くの方が関心を持ち、参加し発言しやすい議会報告会」を目指して開催方法の見直しを行っています。

問 参加者について
答 個人参加(41%)・個人・団体を問わない(58%)
考察 個人や団体の参加を促すための意見交換のテーマ設定等が必要です。

問 不参加の理由について
答 開催していることを知らない(54%)・都合がつかない(29%)
考察 周知の方法の見直しや多くの市民が参加できるように日程や時間を工夫する必要があります。

問 議会報告会への参加について
答 ある(7%)・なし(93%)
上記の他、次の問に対しての回答を紹介します。

第4回臨時会 おこめ券（物価高騰対策）、宿泊客へのクーポン券（新型コロナ対策）などの補正予算を議決

原案可決

令和4年第4回臨時会は、10月17日に開催され、市長提案の議案1件の審議を行い、2億1千904万7千円を増額する補正予算1件を賛成多数で可決しました。議案の内容は次のとおりです。

◇議案第51号 令和4年度館山市一般会計補正予算（第10号）

・歳入歳出それぞれ2億1千904万7千円を追加し、総額240億3千383万6千円とするものです。主な内容は次のとおりです。

総務費／高速バスラッピング広告事業（910万円）：アフターコロナを見据えた観光客等の関係人口の増加につなげるとともに、公共交通事業者を支援するもの。

衛生費／新型コロナウイルス感染症対応医療機関支援事業（3千93万3千円）：新型コロナに対応するため、特別な役割を担う地域外来・検査センター等の事業継続などを目的として給付金を交付するもの。

農林水産業費／お米消費拡大事業（1億1千506万円）：エネルギー・食料品価格等の物価高騰に対する生活者支援として、市民に対し「おこめ券」を配布するとともに、お米の消費拡大により生産者を支援するもの。

商工費／地域観光等振興補助金（3千194万円）：ウィズ・アフターコロナでの観光客等の来訪を促し、地域経済の活性化を図るため、宿泊客へのクーポン券配布や市内観光施設等を経由する各種ツアーを支援するもの。

土木費／城山公園施設整備事業（1千500万円）：児童遊園地内の密集・密接を防止するため、既設遊具の整備及び遊具の新設を行うもの。



議案第51号令和4年度館山市一般会計補正予算(第10号)、農林水産業費「お米消費拡大事業」(1億1千506万円) エネルギー・食料品価格等の物価高騰に対する生活者支援として、市民に対し「おこめ券」を配布する補正予算について、本会議での質疑の一部概要をお知らせします。

問 市内の米農家の軒数について伺います。

答 自家消費農家も含め主食用米の生産農家は1千108軒です。

問 おこめ券を米農家がどのように使うと想定しますか。

答 普段、お米を購入している身内や親しい方などにお礼やお返し用などの贈答品として使用し、お米の消費拡大に努めていただきたいと思います。

問 おこめ券が館山産の米の購入にどれだけ使われる可能性がありますか。

答 実際には分かりませんが、市内の米農家の支援につながるよう、少しでも多く館山産のお米を購入していただければと思います。

問 国の推奨事業メニューには、消費下支えや生活者支援の目的で、地域で使えるプレミアム商品券などがあるが、検討しましたか。

答 商工会議所に発行までの期間を確認したところ、印刷等の準備も含め、年度内に事業を完了するのは困難とのことでした。

問 物価高への対応として、現金や市内の多くの商店で使える商品券、ポイント付与などを検討しなかった理由は何ですか。

答 物価高騰の影響を受ける家計への支援と主食用米の消費拡大に寄与し、短期間で実施できること、その効果が

多くの市民に及ぶことからです。

問 おこめ券については、決め方が性急ではなかったのかと思います。議案第51号には、高速バスのラッピングや新型コロナウイルス感染症対策などの様々な事業があります。このおこめ券の配布部分を差し替えることはできませんか。

答 今回の補正予算は年度内の完了が必要なため、差し替えはできません。

議案第51号 討論

【反対討論】(鈴木ひとみ議員)
国の交付金の目的は、物価高騰に対する家計の支援と消費の下支えである。農家が使わず、利益にもつながらないおこめ券を配布しても農家に得はありません。地域で使える商品券やポイント等を発行するほうが不公平感もなく多くの人が恩恵を受けることができるかと考えることから反対します。

【賛成討論】(鈴木順子議員)
補正予算には様々な新規事業が提案されている。おこめ券配布事業の差し替えはできないとの答弁もあり、その中で、他の事業について、否と判断することは望ましくないと【議決結果は8頁】

12月定例会

森正一市長が 所信表明

所信表明の概要を
紹介します。
全文はこちらから



令和4年第4回館山市議会定例会に際し、市民の代表である議員各位を前に、所信を申し述べる機会をいただきまして心より御礼申し上げます。

財政状況などの課題が山積する現状を目の当たりにし、その重責に身の引き締まる思いですが、十一年半に及ぶ市議会議員としての経験を活かし、市民の皆様の負託に応えるため、全身全霊をもって困難に立ち向かい、市長の任に当たってまいります。

現在、館山市では、経済の停滞や閉塞感に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、先行きの不安が増しているように感じます。

私は、次の四つの目標を掲げ、実現に向け取り組みことで館山市が抱える様々な課題を解決していく決意です。

- 一、「若者が戻って来る、戻って来たい、移住したい」と思えるまちづくり」
- 一、「誰もが住んでよかったと思えるまちづくり」
- 一、「シニア世代が楽しめるまちづくり」
- 一、「安房地域三市一町の連携を強化し、ともに未来を築くまちづくり」

これらの実現のためには、行政だけでなく、市民の皆様も一緒に考え、知恵を出し合うことが重要です。

心をひとつにして共に歩み、夢と希望の持てる館山を、笑顔あふれる館山をみんなで作っていきましょう。

館山市長 森 正一

12月19日 本会議



ごみ処理手数料の条例改正 防災行政無線修繕 保育園完全給食化の 補正予算など14件を議決

案決
原可

令和4年12月定例会は12月13日に招集され、12月27日までの15日間の会期で開催しました。

12月10日に就任した森市長が、定例会2日目の本会議において、所信を表明しました。

市長提案による条例議案5件、一般議案1件、補正予算4件、人事案件1件、議員提案による発議案3件を審議し、うち議案8件を所管する各常任委員会に付託し審査しました。

最終日に各委員会審査の結果を報告し、追加議案とともに審議しました。

慎重審議の結果、全ての議案を、原案どおり全会一致で、可決、同意しました。主な議案の審議内容は、次のとおりです。

一般議案
補正予算
質疑

◇議案第56号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 有料化することで不法投棄が増える懸念があります。不法投棄対策を伺います。

答 環境等対策監視によるパトロールや不法投棄防止表示看板の配布などにより不法投棄防止に努めます。不法投棄を発見した際は、警察や千葉県に通報するなど関係機関と連携して対応します。

◇議案第57号 令和4年度館山市一般会計補正予算(11号)について

問 市街地循環バスは足の不自由な高齢者などが乗りづらい、車椅子が入れないという意見を聴きますが、本格運行にあたり対応策はありますか。

答 本格運行に際しては、いわゆるバリアフリー法で、バリアフリー対応の車両での運行を求められていることに加え、館山市としても、より利用しやすい環境とするため、手荷物を持った高齢者やベビーカー、車いすを利用している方でも簡単に乗り降りできるノンステップ型車両の導入を考えているところです。



常任委員会

3つの委員会が所管する部門や事務に関する調査、付託を受けた議案・請願などを審査します。

総務

委員長 信重 石井
副委員長 ひとみ 鈴木
委員 三 祐 浩 敬 之
本 田 太 石 井

総務委員会には、5件の議案が付託され、慎重審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。主な議案の内容と質疑応答は次のとおりです。

◇議案第53号 館山市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について

問 今回の条例改正に関して、特に気をつけなければならないことは何か伺います。
答 今回の法改正により郵便や任意代理人による請求が新たに設けられたため、なりすましによる請求に注意が必要となります。



◇議案第57号 令和4年度館山市一般会計補正予算(第11号)

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ1億1千659万7千円を追加し、総額24億5千43万3千円とするものです。

問 公立保育園完全給食準備事業に関して、対象となる保育園数、児童数を伺います。
答 対象となる園は公立保育園3園で、児童数は3歳児以上120人程度であり、完全給食が開始された場合、全ての児童に保育園で炊いた温かいご飯が提供されます。

問 防災行政無線整備費について、今回の整備で防災行政無線の故障箇所がすべて改善されるのですか。また、今後の情報提供の方法について伺います。
答 4か所の整備が終われば故障している箇所はなくなり、今後の防災行政無線の伝達については、防災行政無線だけではまかないきれないため、市民の立場にたった情報提供の方法を検討し、充実させていきたいと考えています。

問 繰越明許費の新型コロナウイルススワクチン接種費は、接種が見込めない人の分か伺います。
答 現在の新型コロナウイルススワクチン接種事業は、国の方針で令和5年3月31日をもって終了となる予定です。その接種費用について医療機関から市に請求されるのは、市内の医療機関は1〜2ヶ月、県外の医療機関は、3〜4ヶ月程度を要するので、その支払いを可能とするために令和5年度に繰り越すものです。

問 繰越明許費の新型コロナウイルススワクチン接種費は、国の方針で令和5年3月31日をもって終了となる予定です。その接種費用について医療機関から市に請求されるのは、市内の医療機関は1〜2ヶ月、県外の医療機関は、3〜4ヶ月程度を要するので、その支払いを可能とするために令和5年度に繰り越すものです。

問 繰越明許費の道路新設改良費の関係機関との協議・調整の不測の日数とは何ですか。
答 食のまちづくり拠点施設の整備に合わせた道路の拡幅計画について、警察との協議に想定よりも多くの日数を要したことによるものです。

文教民生

委員長 一子 昇 宏
委員 聖 順 亮 敏
副委員長 野 橋 月 井
委員 佐 本 望 石 井

文教民生委員会には、1件の議案が付託され、慎重審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。議案の内容と主な質疑応答は次のとおりです。

◇議案第58号 令和4年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号)

問 家族介護用品購入費の債務負担行為について、昨年の補正予算では、限度額400万円を設定しているが、今回300万円となった理由を伺います。
答 死亡や施設入所等となる人数に対して、新規にこの事業を利用する人が下回っており、年々利用実績も減少しているため限度額を減らして設定しています。

問 支給対象者には個人差があると思うが、追加で受けることはできますか。
答 要介護4・5については年間10万円を限度、要介護3で重度の認知症又は寝たきりの人は年間6万円を限度額としており、それ以上の追加は現段階では考えていません。



問 家族介護用品の支給を知らない人が多いのではないか。使うべき人は使えていますか。
答 ケアマネジャーも関わっており、必要な人には声が掛かっていると考えています。

問 家族介護用品の支給を知らない人が多いのではないか。使うべき人は使えていますか。
答 ケアマネジャーも関わっており、必要な人には声が掛かっていると考えています。

建設経済

一 浩 章 滋 徳
 正 長 孝 光 秀
 委員 木 田 山 崎 川
 副 委 員 倉 秋 龍 長
 長 副 長

建設経済委員会には、2件の議案が付託され、慎重審査の結果、全員一致をもって原案どおり可決すべきと決しました。議案の内容と主な質疑応答は次のとおりです。

◇議案第56号 館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 可燃ごみ及び不燃ごみを有料化する目的について伺います。

答 ごみの減量化と資源循環の促進を図ること、無料区分を見直して排出量に応じた対応の負担を求めようとするものです。

問 なぜもっと早く可燃ごみの一般廃棄物処理手数料を改定しなかったのか伺います。

答 これまでは、ごみの多量排出の抑制に着目し、一定程度の無料区分を設けていたと考えら

れますが、近年のごみの減量化や資源循環の促進といった環境への配慮の高まりなどもあり、ごみ処理経費も含めた環境行政を取り巻く環境が、全国、世界的にも大きく変わってきているため、環境課においても無料区分の見直しを検討してまいりました。この状況に加えて、令和5年度から、安房広域に代わり、市の粗大ごみ処理施設が供用開始予定であり、この施設で受け入れるための一般廃棄物処理手数料を定める必要があるため、可燃ごみ、不燃ごみの自己搬入による無料区分を解消し、有料化を行うこととしました。

問 効果の予想値をどのように捉えていますか。

答 財政効果は、令和3年度の実績で試算すると、可燃ごみの自己搬入は約158万円の増、不燃ごみの自己搬入は、現在は全額が安房広域の歳入ですが、令和5年4月以降は、市の運営となるため、全額が市の歳入となり、約626万円の増を見込んでいます。また、可燃ごみの減量化と資源循環の促進を個別に数値化することは難しいですが、後期基本計画では、1日当たりのごみ排出量の目標値を1人当

たり1千90グラム、資源ごみの再資源化率の目標値を15%以上としているため、この値が目標値になります。

◇議案第59号 令和4年度館山市下水道事業会計補正予算(第2号)について

問 この委託料は妥当な金額ですか。

答 委託料が増えた主な理由は、前回の5年前と比較し、物価の高騰や消費税及び地方消費税率が8%から10%に引き上げられたためです。また、受託者の人件費の積算は、日本下水道協会の下水道施設維持管理積算要領の電気工事士の労務単価を参考としていますが、前回よりも約13%引き上げられたことも委託料増の要因と考えています。

追加議案

定例会の最終日には、条例議案1件、補正予算1件、人事案件1件、議員提案の発議案3件が追加議案として上程され、審議の結果、原案どおり可決、同意しました。議案の内容は次のとおりです。

◇議案第60号 館山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う、現下の厳しい社会経済情勢に鑑み、令和5年1月1日から令和5年3月31日までの間、特別職の給料を10%減額するものです。

◇議案第61号 令和4年度館山市一般会計補正予算(第12号)

歳入歳出予算の補正として、歳入歳出それぞれ6千541万8千円を追加し、総額242億1千585万1千円とするものです。

歳出の内容としては、土木費で、船形バイパス整備事業における箱型函渠改良工事の変更で6千万円、那古住宅1

号棟の改修工事で、施工箇所が増加などで541万8千円をそれぞれ増額するものです。



船形バイパス 箱型函渠改良工事箇所

歳入の内容として、国庫支出金を減額及び繰入金、市債などを増額するものです。このほかに、地方債の補正として、都市計画道路整備事業の追加及び市営住宅改修事業の変更をお願いするものです。

◇議案第62号 館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について

令和5年3月22日をもって任期満了となる館山市固定資産評価審査委員会委員1名について、引き続き、谷野秀紀さんを適任と考え、選任するものです。



発議案

◇発議案第6号 館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

千葉県人事委員会勧告に準じ、期末手当の支給月数を引き上げる改正をします。

◇発議案第7号 館山市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

電子表決システムの導入にあたり、電子表決システムの表決方法を規定するものです。

◇発議案第8号 館山市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

個人情報保護法の改正により、令和5年4月から地方議会は改正法の対象外となりますが、引き続き、議会が保有する個人情報の適正な取扱い、個人の権利利益を保護することを目的として新たに制定するものです。

令和4年第4回 臨時会提出議案議決結果

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第51号	令和4年度館山市一般会計補正予算(第10号)	—	原案可決 賛成多数

令和4年第4回 定例会提出議案議決結果

議案等番号	件名	付託委員会	議決結果
議案第52号	館山市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	総務	原案可決 全会一致
議案第53号	館山市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	総務	原案可決 全会一致
議案第54号	館山市職員給与条例等の一部を改正する条例の制定について	総務	原案可決 全会一致
議案第55号	損害賠償の額の決定及び和解について	総務	原案可決 全会一致
議案第56号	館山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	建設経済	原案可決 全会一致
議案第57号	令和4年度館山市一般会計補正予算(第11号)	総務	原案可決 全会一致
議案第58号	令和4年度館山市介護保険特別会計補正予算(第2号)	文教民生	原案可決 全会一致
議案第59号	令和4年度館山市下水道事業会計補正予算(第2号)	建設経済	原案可決 全会一致
議案第60号	館山市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
議案第61号	令和4年度館山市一般会計補正予算(第12号)	—	原案可決 全会一致
議案第62号	館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について	—	原案同意 全会一致
発議案第6号	館山市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	—	原案可決 全会一致
発議案第7号	館山市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	—	原案可決 全会一致
発議案第8号	館山市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	—	原案可決 全会一致

私の判断は



賛成

反対

質疑の概要
及び
討論は
4頁へ

令和4年第4回臨時会・議案の賛否

賛否が分かれた議案のみ掲載
(○：賛成、×：反対)

議員名	佐野聖一	長谷川秀徳	倉田孝浩	鈴木ひとみ	石井敏宏	瀬能孝夫	望月昇	石井敬之	太田浩	龍崎滋	石井信重	鈴木正一	秋山光章	榎本祐三	本橋亮一	鈴木順子
議案番号	—	—	—	—	—	—	—	議長	—	—	—	—	—	—	—	—
議案第51号	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

一般質問

一般質問は、市政について、本会議の場で、市に対し議員が質問を行うものです。



長谷川 秀徳議員
1期目・61歳・船形
たてやま21・緑風会
(建設経済委員会委員)

休止・廃止後の校舎等の利活用について

問 旧神戸小学校・旧富崎小学校は、地区住民との協議を行っていくとの事ですが、現在の状況を伺います。

答 旧神戸小学校は、特別教室棟の1階が房南こども園として、管理棟は、区長会議や神戸地区公民館サークルなどで利用し、教室棟は1階のみを災害時の備蓄倉庫等で利用しています。今後、管理棟にシルバー人材センターの事務所を移転することとしました。また、特別教室棟の2階に市の書庫を移転します。

解説 旧神戸小学校は、ある程度公共的活用が出来ていると思います。旧富崎小学校は、民間事業者による

る活用を目指して地元住民との説明・協議を十分にいき、進めてほしいと思います。今後、館山中学校や学校再編成によって発生する可能性のある施設の利活用も準備検討をお願いします。



旧神戸小学校

家庭児童相談体制の強化事業について

問 児童虐待相談には、どのように対応しているのか伺います。

答 令和3年度の児童虐待に関する相談対応件数は2千282件で児童数は1500名から2000名前後で推移しています。定期的な家庭訪問や面接、電話相談などを実施し、児童相談所や警察、医療や介護、障害福祉サービスなど関係機関との連携や役割分担により、家庭状況が少しづつでも改善に向かうよう支援や見守りを行っています。

館山を離れた若い人が戻るための取組を問う



鈴木 ひとみ議員
1期目・64歳・佐野
新政クラブ
(総務委員会副委員長)

問 「館山を離れた若い人」が戻ることとを促すための取組を伺います。

答 地元の中学生や高校生だけでなく、県北や県外に進学している学生地域外に転出して働いている若者に対するアンケート調査などを実施し、現状分析を行います。また、UIJターンの雇用の受け皿となる企業誘致や地元の中小企業の振興や起業支援に引き続き積極的に取り組んでいくほか、深い地元愛を育むための教育や地域活動の充実を図ります。地元で就職や起業を希望する若者に対しての支援や、安心して子どもを産み育てられる環境整備や支援についても、様々な方策を検討していきます。

解説 企業誘致は前市長もトップセールスを行っていましたが、誘致が実現しませんでした。コロナ禍により、外国での生産に不具合が生じた企業をうまく捉えることが大切と考えます。また、市内の様々な職種が人手不足であるため、これらの職種で若者が働きたいと思う環境を作り、マッチングさせていくことも必要です。

地域課題解決の第一歩は

市民参画の場を増やすこと

問 市民協働について、地域課題解決のための市民参画の場を増やし、協働のまちづくりを推進するための取組について伺います。

答 館山市では、誰もが住みやすく活気にあふれた魅力ある地域社会の実現を図ることを目的に、平成30年度に館山市市民協働条例を制定し、市民、市民公益活動団体、地域コミュニティ、事業者及び市がそれぞれの役割に基づき連携、協力してのまちづくりを推進しているところです。その財政支援策として、令和元年度から市民協働まちづくり支援事業を実施しています。

解説 市民のまちづくりへの参画を促そうという市長の姿勢には大いに期待します。市民がまちづくりに参画するためには、「場」を作ることが必要です。市民協働事業に市民が手を上げやすくし、良い事業ならば「市も一緒に」取り組む、「自分ごと化会議」など市民がまちづくりに参画する機会をつくる、市民の提案を受ける窓口を作つて市民と職員と一緒に考えるなどの取組を早く進めるべきと考えます。市民と市と一緒に地域課題を解決することで、住みやすい館山、魅力のあるまちをつくる事が出来るかと考えます。





龍崎 滋議員
3期目・68歳・広瀬
公明党
(建設経済委員会委員)

今後の市政運営における 活性化策を問う

問 農業における若者の新規就農の推進と離農抑制策を伺います。



答 若者の新規就農者には就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営開始資金を交付します。離農抑制策は、地域ぐるみによる農業や認定農業者などの意欲的な農業経営体に必要な機械や施設整備の補助を行うとともに、農地中間管理事業による農地の利用集積を行い、安定的な農業経営を支援します。

解説 市長が今後進めていく市の活性化策のうち、一次産業や観光業について質問をしました。今後は、安房農業事務所、農協、漁協をはじめ、各種の生産団体や若手農業者との情報・意見交換の場を開催することを要望しました。

食のまちづくり拠点施設と道の駅の登録について

問 道の駅の登録をどのように進めているか伺います。

答 道の駅の登録は、来年度の登録に向けて、現在、国や県と相談・調整を進めており、来年度の前期受付分で本申請を行う予定です。

解説 建設経済委員会の行政視察で、本年開設した鳴門市の道の駅を参考に、質問をしました。

また、施設整備のすべてを自治体が行う単独型とした理由を尋ねたところ、接道する市道の管理者が館山市であること、地域振興機能を重視して、単独型としたとのことでした。



食のまちづくり拠点施設 (外観イメージ)



農園 (イメージ)

新市長に問う



鈴木 正一議員
4期目・72歳・神余
新政クラブ
(建設経済委員会委員長)

これからの館山市を どう変えていくのか



問 「今こそ館山を変えるとき」と言っていました。どのように変えていくのか伺います。

答 館山を変えていくための鍵は、若者の力を原動力として、すべての市民が館山の魅力に誇りと自信を持ち、可能性を信じていくことであると考えます。都心からのアクセスの良さ、豊かな自然環境や温暖な気候、新鮮でおいしい農水産物、歴史とともに育んできた産業や文化、スポーツ環境等、館山は魅力にあふれています。この館山の素晴らしさと館山を愛する市民一人ひとりの力を二つにし、しっかりと発揮することで、必ずや、夢と希望が持てる館山に変えていくことができることを確信しています。

地域公共交通について

問 買い物チャトルサービスの実証運行の現状について伺います。

答 12月1日から、豊房地区及びび神戸地区の一部と、南房総市の白浜・千倉地区の一部を対象エリアとして運行がスタートしました。この実証運行は、バス停から遠く、これまで路線バスを利用できなかった集落の皆様にも便利に利用してもらうため、各集落を網羅する形で3つのコースを設定し、それぞれ週に1回、1往復運行しています。

解説 買い物チャトルサービスの実証運行は始まったばかりですが、今後は、運賃設定や障害をお持ちの方への配慮をしながら改善を図った上で、本格運行を期待します。



買い物チャトルサービス

解説 市長は自らの経験で、企業の閉鎖により職を失うという場に直面しました。安房地域の有効求人倍率が高いにも関わらず、職を求めている人とのミスマッチが相変わらず起きてきていることをどのように考えるのか。

また、鉄道の減便により市外との通勤手段の整備がされないことで職を離れざるを得ない状況も考えるべきではないだろうか。

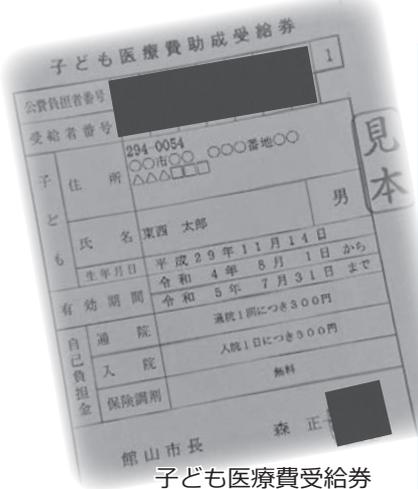
問 館山市長選挙で訴えていた「若者が戻ってくる、戻ってきたいと思えるまち」の具体策は何でしょうか。

答 「若者の流出」が館山市が抱える一番の課題です。その方策の一つが企業誘致であるため、雇用の受け皿となる支援に引き続き取り組んでいきます。その為に若者に対しアンケート調査を実施し、現状分析をしていきます。さらに地元で安心して子どもを産み育てられる環境整備や支援について検討していきます。



鈴木 順子議員
8期目・72歳・下真倉
じゅん風
(文教民生委員会副委員長)

「若者が戻ってくる
戻ってきたいと思えるまち」
具体策を問う



解説 県内には、いすみ市のように約20年にもわたり高校3年生までの医療費無償化に取り組んでいる自治体もあることから、子育て世帯の負担軽減のためにも取り組んでほしいと考えます。

答 子ども医療費助成制度は、全国で統一な運用が必要であると考えているため、国や県への働きかけを継続して実施しています。今後国や県、他市町村の動向や館山市の財政状況等を確認しながら、できるだけ早い段階に実現できるように検討し、助成枠を広げながら無償となるよう取り組んでいきます。

問 市議であった当時、市長は高校3年生までの医療費無償化を訴えていましたが、助成範囲拡大との公約をされました。考えに変化があったのですか。

高校3年生までの
医療費助成の拡大を問う



石井 敏宏議員
3期目・50歳・上真倉
たてやま21・緑風会
(文教民生委員会委員)

「中高生議会の導入」の
公約を問う



問 市長の公約の「中高生議会の導入」ですが、中高生の意見を市政に反映することは、民主主義的な意義があると思いませんか。現時点における構想を伺います。

答 次代を担う中高生たちが、市政やまちづくり、学校や地域の身近な問題などについて質問や提案を行い、市政や市議会への関心や理解を深めることは、中高生が社会に参画する資質や能力を培い、若者がまちづくりへの関心を持つためにも有効な手段であると考えています。

また、若い世代の声が市政に反映されることで、まちづくりは自分事であると意識してもらおうことが、館山市の活性化、さらには魅力あるまちづくりに繋がるものと、私自身確信をしています。

最近では、館山リノベーションまち



づくり事業として実施している「あんもかんもナイト」や「安房六軒高校」、北条海岸ビーチマーケット、防災訓練、ビーチクリーン活動など、館山市の事業実施時に、積極的に市内の高等学校等に参加を呼びかけ、事業を通じて市政を身近に感じてもらえる機会も増えています。

これらの活動を通じて、中高生が主体的に市のまちづくりに携わるといった機会を設けることは、ふるさとに対する愛着を強くもってもらい、若者の流出を止める手段の一つとしても、大変重要なことであると考えます。

館山市では、過去に中学生議会を開催していた時期がありますが、生徒や学校現場の負担軽減という課題を考慮した結果、現在は実施していません。

中高生議会の実現には、生徒自身はもとより学校の協力が必要不可欠であり、近年の学校における働き方改革の推進等の教育現場をとりまく環境も考慮しながら、他自治体の先進事例を参考に、若者のまちづくりへの関心をもってもらえる取組を進めていきたいと考えています。





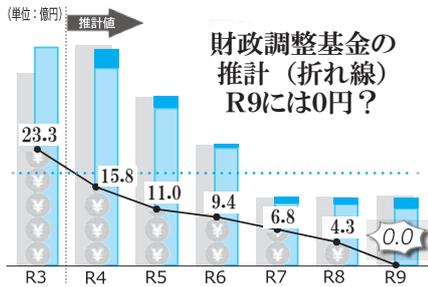
榎本 祐三議員
5期目・77歳・笠名
たてやま21・緑風会
(総務委員会委員)

第4次行財政改革方針の 策定経過を問う

問 第4次行財政改革方針の策定状況等について伺います。

答 議員2名を含めた8名の委員からなる館山市行財政改革委員会において、策定に向け取り組んでいるところです。令和4年12月13日に開催された当該委員会では、方針の素案を示しています。今後、委員からの意見を反映しつつ、2月にパブリックコメントの実施を予定しています。

解説 このまま何もしなければ令和9年度には財政調整基金は枯渇し、行政サービスに影響が出る恐れが指摘されており、次期行財政改革方針を適切に策定して、実行することが急務なことから質したものです。市民の皆様にも厳しい財政をご理解いただくことも提言しました。



だん暖たてやま (R4年12月号抜粋)

市役所新庁舎はいつ、どこに建つのか

問 現在の市庁舎の使用期限と新庁舎の建設位置や予算規模を伺います。

答 現庁舎は、平成20年度から24年度の間で耐震改修工事を実施しており、今後10年程度使用可能と考えています。新庁舎の建設位置については、安房地域の行政機能の拠点として旧安房南高等学校跡地に消防署、警察署が建設され、安房合同庁舎も建設される予定であることから、新庁舎も当該跡地に建設するのが適当と考えています。建設費用については、次期館山市総合計画に新庁舎建設を位置付け、その中で検討していきます。

解説 新庁舎の建設は、市民の最も関心の高い事業であり、行財政改革を進める中で多額の費用を要することから、その対応を質問したものです。今回の回答では、新庁舎は令和14年度に旧安房南高等学校跡地に建設されると思われるかと伺います。



館山警察署 (旧安房南高跡地)



石井 信重議員
4期目・53歳・那古
新政クラブ
(総務委員会委員長)

「後期基本計画の重点プラン」 長年の課題事業等に 対する考えを問う

問 「後期基本計画」に位置付けられている多くの重点プラン事業について、今後、休止や凍結、廃止を考えているものはないか伺います。

答 館山市では、平成28年度から令和7年度までの10年間を期間とする「基本構想」を策定し、まちづくりを進めてきました。現在は、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「第4次館山市総合計画」『後期基本計画』に基づき、具体的な事業を進めています。全227事業のうち、特に分野を横断的かつ重点的に取り組むべき50の事業を重点プランに位置付けています。「後期基本計画」はまちづくりの根幹に関わる長期計画であり、館山市の中でも最上位の計画です。基本的には休止や凍結、廃止は考えていません。進捗状況を適正に管理・評価しながら、継続していきなさいと考えています。

解説 新市長の就任後最初の定例会にあたり、市政運営における基本的なまちづくりに関する考えや姿勢を質しました。

特に、長年の課題事業の多い重点プランに対し、今後大きく変化させるものはないかを確認し、進捗状況を適正に管理・評価しながら、継続していくとの回答を得ました。

「後期基本計画」は、特に7つの基本目標や36の基本施策とSDGsの各目標を関連付けるとともに、分野横断的かつ重点的に取り組む施策・事業を「重点プラン」に位置付け、戦略的なまちづくりを進めています。台風からの復興、コロナ禍にあつて、地域経済の立て直しは喫緊の課題であり、地域にとって重要な事業の継続と早期実現は、市民生活の安定・安心と共に、市政発展に欠かすことのできない取組であると認識しています。今の館山市の現状を的確に捉え、市長としての責任と覚悟を持ち、あらゆる施策を進めていただきたいと訴えました。

後期基本計画

第4次館山市総合計画 「後期基本計画」

令和3年度 ▶ 令和7年度

定額あられる目標設定

4つの重点プラン

1 海の魅力アッププラン

「海」に開かれた「しごと」を創出する

「海」の魅力を活かした地域の活性化を図る

「海」の魅力を活かした地域の活性化を図る

「海」の魅力を活かした地域の活性化を図る

(13)

たてやま議会だより

問 海の魅力を最大限に生かすため、県管理地の有効活用が必要だと思えますがどのように考えていますか。

答 海・浜など、海岸線の県管理地の活用は、イベント開催や海水浴場開設の場所としても重要であり、必要

海岸の有効活用について
～選挙公約を問う～

解説 公務員の採用試験申込者数は減少傾向であり、人材確保に向けた取組は喫緊の課題であると認識している中で、「働きやすい職場」づくりは職員の能力向上にもつながり、有為な人材確保につながると思っています。

答 市職員は現在の職員数の中で、行政サービスを維持し、さらに向上を図るため努力しているところです。また、常に質の高い行政サービスを市民に提供できる組織であり続けるためには、時代環境に適応できる能力を有する人材を行政の担い手として継続的に確保する必要があります。

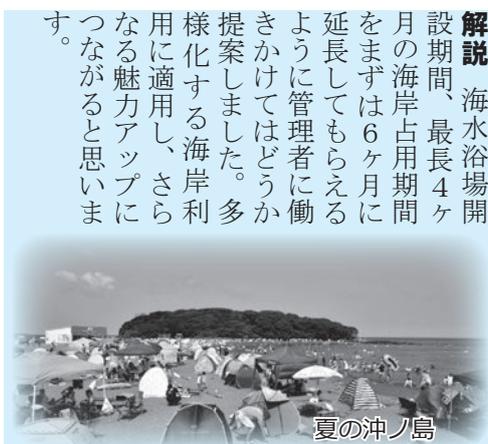
問 館山市職員の職場環境について職員数の過不足を伺います。

市職員の職場環境について
過不足を問う



佐野 聖一議員
1 期目・47 歳・波左間
市民クラブ
(文教民生委員会委員長)

であると考えています。アフターコロナを見据え、イベントのあり方や開催方法を再考し、コロナ禍前のように海岸エリアを活用したイベントを関連団体や民間団体とも連携しながら実施していきたいと考えています。



解説 海水浴場開設期間、最長4ヶ月の海岸占有期間をまずは6ヶ月に延長してもらえらるよう管理者に働きかけてはどうか提案しました。多様化する海岸利用に適用し、さらなる魅力アップにつながると思えます。

不妊治療の助成充実について
～選挙公約を問う～

問 選挙公約の不妊治療の助成充実について何から取り組むのか伺います。

答 不妊治療に関する正しい知識の普及や相談窓口の周知に努めていく一方で、更なる支援の必要性については、他の自治体の取組や近隣市町の動向を注視していきます。

解説 何から取り組むのか、はつきりとした回答はありませんでしたが、金銭的支援が難しい現状、現在行っている支援の中で、「正しい知識の普及」に力を入れるよう要望しました。



市議会を見たい・知りたい

館山市議会は、議場での傍聴の他、パソコンやスマートフォンからのインターネット中継、議会だより、市のホームページなどから確認できます

YouTube
市議会を動画配信

本会議の様子をYouTube（ユーチューブ）で配信しています。自宅のパソコンやスマートフォンなどから生中継（ライブ動画）や録画（生中継終了後2日程度後からおおむね2か月間）で視聴できます。



LINEで
簡単に情報GET



館山市の公式ラインを登録することで、議会だよりや議会の情報が配信されます。



3月定例会の日程（予定）

- 開会日：2月24日（金）午前10時～
- 一般質問：2月28日（火）午前10時～
- 3月 1日（水）午前10時～
- （予備日）3月 2日（木）午前10時～



全国市議会議長会基地協議会関東部会総会

(航空自衛隊 入間基地を視察)

～石井議長が出席～

11月7日、全国市議会議長会基地協議会関東部会総会が行われました。海上自衛隊の基地が立地する館山市からは石井敬之議長が出席しました。



入間基地を視察

基地協議会の関東部会は、基地が立地する関東地区の38自治体の議長で構成しています。

主な活動は、基地を抱える自治体の共通課題を調査研究し、基地周辺の対策経費や普通交付税措置の拡充等、住民生活の充実と安定を目的として、国に対し要望等を行うものです。

基地の立地による館山市への主な財政措置

- ・ 国有施設等所在市町村助成交付金 約8千万円 (R3年度)
- ・ 防衛施設周辺対策事業補助金

(例：新館山中学校建設事業、消防車両購入等)

南島原市議会の行政視察を受入れ

～「渚の駅”たてやま”を視察～

11月8日、館山市議会では、長崎県南島原市議会(総務委員会)の行政視察を受け入れました。

南島原市議会の一行は、「海岸線を活用したまちづくり」の参考とするため、「渚の駅”たてやま”を視察しました。南島原市は島原半島の南東部に位置し、有明海に面した人口約43,000人のまちです。

当日は、望月昇副議長が歓迎の挨拶と館山市の海辺のまちづくりを紹介し、観光みなど課職員が「渚の駅”たてやま及び館山夕日棧橋の整備の経緯、クルーズ船寄港等の実績、年間入込客数などについて詳しく説明しました。



～館山市議会では、全国各地の議会の行政視察を受入れ、館山市の取組を紹介しています～



たてやま議会だより

表紙写真を募集中!



募集する写真

四季折々の風景や祭り、行事など、館山市内で撮影された季節が感じられる写真

応募資格

館山市在住、在勤または在学の方

応募方法

作品に撮影者の住所、氏名、電話番号、撮影場所・撮影年月日、作品名とその説明を添えて、画像データを直接、郵送(CD等に保存)、または電子メール(受信の都合上、1~3MB)で館山市議会事務局へお送りください。詳しくは、「市議会HP」をご覧ください。

広報広聴委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員 | 委員長 |
| 副委員長 | 望月 昇 |
| 秋山光章 | 本橋 亮一 |
| 瀬能孝夫 | 石井信重 |
| 石井敏宏 | |



広報広聴委員会の様子(議長室)

編集後記

市長選挙がある年の12月定例会は、市長の新しい任期が始まるから開会します。そのため、議会は12月中旬からスタートし、年末に閉会する慌ただしい日程になりましたが、しつかりと準備をして、充実した審議ができました。さて、皆さまにお願いしました「議会報告会のアンケート」ですが、たくさんのお答をいただきました。改善点を色々と発見できましたので、来年度以降の議会報告会の実施にあたり、貴重なご意見として反映していきたいと思えます。(石井敏宏)

※議会や議会だよりに関するご意見、ご質問は議会事務局まで、電話またはメールでご連絡ください。

(電話番号及びアドレスは下記を参照)

